

指揮: マレク・ヤノフスキ
 ブリュンヒルデ: エリカ・ズネガルド
 アルベリヒ: トマス・コニエチュニー
 管弦楽: NHK交響楽団

ジークフリート: アンドレアス・ジャヤーガー
 エギルス: シリンス
 シム・インス
 トーマス・ラウスマン
 ファーフナー: エルダ
 ヴァイブケ・レームクール
 ミメ: ゲルハルト・シーゲル
 エルダ: テツタカ
 映像: 田尾下 哲

森の鳥: 清水理恵

Conductor: Marek Janowski
 Brünnhilde: Erika Sunnegårdh
 Alberich: Tomasz Konieczny
 Orchestra: NHK Symphony Orchestra

Siegfried: Andreas Schager
 Der Wanderer: Egils Silins
 Fafner: In-Sung Sim
 Erda: Wiebke Lehmkuhl
 Musical Preparation: Thomas Lausmann
 Mime: Gerhard Siegel
 Stimme des Waldvogels: Rie Shimizu
 Video: Tetsu Taoshita

April 7 (Thu.) 15:00
 Zweiter Tag

10 (Sun.) 15:00

Tokyo Bunka Kaikan Main Hall
 Concert Style / With projected images and subtitles

Siegfried
 Der Ring des Nibelungen

Tokyo-HARUSAI Wagner Series vol.7

東京春祭ワーグナー・シリーズ vol.7

『ニーベルングの指環』第2日
 《ジークフリート》

[演奏会形式 / 字幕・映像付] 全3幕 / ドイツ語上演 上演時間: 約4時間50分 (休憩2回含む)

4/7 15:00 [木] 4/10 15:00 [日] 東京文化会館大ホール
 S ¥20,600 A ¥16,500 B ¥12,400 C ¥9,300
 D ¥6,200 E ¥3,100 U-25 ¥2,000 (税込)

主催: 東京・春・音楽祭実行委員会 共催: NHK交響楽団 後援: 日本ワーグナー協会
 助成: 公益社団法人企業メセナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド

一般発売日: 11月23日 [月・祝] 10:00
 ※U-25のみ2月12日 [金] 12:00より発売

東京・春・音楽祭 —東京のオペラの森2016—
 SPRING FESTIVAL IN TOKYO TOKYO OPERA NOMORI 2016



©Nationalarchiv der Richard-Wagner-Stiftung, Bayreuth

2014年から4年間をかけて完結する、ハルサイのワーグナー《リング》プロジェクトは、いよいよその後半にさしかかろうとしている。現代最高のワーグナー演奏が春爛漫の東京で愉しめる日々は、なにものにも代えがたい贅沢なひととき。2015年の上演でも、作品を知り尽くし、すべてに行き届いた指示を与える名匠マレク・ヤノフスキの手にかかると、100人を優に超えるN響からは、《ワルキューレ》第1幕冒頭、嵐に彷徨う傷ついたジークムントの姿がくっきりと浮かび上がった。声量のみならず情感にも事欠かないすぐれた歌手たちのわずかな仕草からもワーグナーの描いたドラマそのものが立ちのぼり、簡にして要を得た映像がその演技を背後から支えた。3年目となる2016年は、たった8人の歌手で4時間半の長丁場を切り盛りする《ジークフリート》。第1幕の勇ましい刀鍛冶の歌や第2幕の大蛇との格闘が若き英雄の成長物語を華やかに彩り、第3幕でのブリュンヒルデとの邂逅が青年の愛への目覚めを高らかに寿ぐ。年に一度、世界的に見ても最高水準に位置するワーグナー作品の演奏を味わえる東京の春が、いまから待ち遠しい。

広瀬大介 (音楽学、音楽評論)



2017年春、ついに完結 『ニーベルングの指環』

第3日《神々の黄昏》

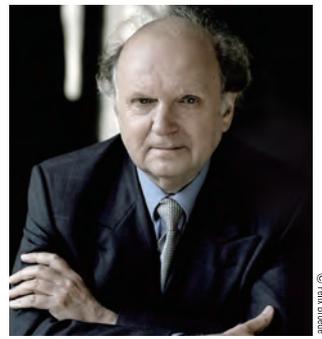
指揮: マレク・ヤノフスキ
ジークフリート: ロバート・ディーン・スミス
ブリュンヒルデ: クリストファー・ネ・リポルト
グンター: マルクス・アイヒェ
ハーゲン: アイン・アンガー
アルベリヒ: トマス・コニエチュニー
ヴァルトラウテ: エリーザベト・クールマン
管弦楽: NHK交響楽団
合唱: 東京オペラシンガーズ /ほか



Tokyo-HARUSAI
Wagner Series
Der Ring des
Nibelungen
2014-2017

マレク・ヤノフスキ (指揮) Marek Janowski (Conductor)

1939年ポーランド・ワルシャワ生まれ。外ロポリタン歌劇場やバイエルン国立歌劇場、クレーヴランド管弦楽団やケルンWDR交響楽団等、世界中の著名な歌劇場・管弦楽団に客演。フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団やケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団他で主要ポストを歴任。2002年ベルリン放送交響楽団の芸術監督に就任し、世界的なオーケストラへと導く。特にワーグナーのオペラ・シリーズは演奏会形式による上演の新たなスタンダードを築き、そのライブ録音CDは「生誕200年における最も意欲的な録音プロジェクト」(『ガーディアン』紙)と評された。16、17年にはバイロイト音楽祭で「ニーベルングの指環」を指揮する予定。



© Felix Brödel

アンドレアス・シャーガー

ジークフリート(テノール)
Andreas Schager Siegfried (Tenor)

ウィーン国立音楽大学で学ぶ。パレンボイムが指揮する《神々の黄昏》ジークフリートで大きな賞賛を受ける。《フィデリオ》フロレスタン、《魔弾の射手》マックス、《リエッツィ》リエッツィ、《トリスタンとイゾルデ》トリスタン等で世界中の舞台上に登場。



© David Henschel

エギルス・シリンス

さすらい人(バス・バリトン)
Egils Silins Der Wanderer (Bass Baritone)

ラトヴィア音楽院卒業。ポイト《メフィストフェレ》でデビュー。ウィーン国立歌劇場等、著名な舞台上に登場。《さまよえるオランダ人》オランダ人、《ラインの黄金》《ワルキューレ》ヴォータン、《ジークフリート》さすらい人他、レパートリーは90を超える。



エリカ・ズンネガルド

ブリュンヒルデ(ソプラノ)
Erika Sunnegårdh Brünnhilde (Soprano)

R.シュトラウス、ベートーヴェン、プッチーニを得意とするスウェーデン系アメリカ人ソプラノ。アーロン・コーブラッド音楽学校等で学ぶ。《サロメ》サロメ、《フィデリオ》レオノーレ、《さまよえるオランダ人》ゼンタ、《ワルキューレ》ヘルムヴィーゲ他を歌う。



© Stefan Hill

ゲルハルト・シーゲル

ミーメ(テノール)
Gerhard Siegel Mime (Tenor)

器楽奏者・作曲家を経て声楽家になり、ドラマティック・テノール、ヘルデン・テノールとして活躍。近年は《ラインの黄金》《ジークフリート》ミーメを主要なレパートリーとし、外ロポリタン歌劇場、バイロイト音楽祭、コヴェント・ガーデン等で同役を歌う。



© Christian Hill

トマス・コニエチュニー

アルベリヒ(バス・バリトン)
Tomasz Konieczny Alberich (Bass Baritone)

ポーランド生まれ。俳優を経て、声楽家に転じる。ウィーン国立歌劇場で成功を取り、「ニーベルングの指環」アルベリヒ、ヴォータン、《さまよえるオランダ人》オランダ人、《サロメ》ヨカナーン等、当代きってのドラマティック・バス・バリトンとして活躍。



© Christian Hill

シム・インスン

ファーフナー(バス)
In-Sung Sim Fafner (Bass)

韓国生まれ。ウィーン音楽院で学ぶ。世界各国で活動し、東京春祭の《ラインの黄金》ファーフナー、《ワルキューレ》フンデンングを始めとして、《ドン・ジョヴァンニ》騎士団管区長、《アイダ》エジプト国王、《トゥーランドット》ティムール等を歌っている。



東京・春・音楽祭

-東京のオペラの森2016-
3.16 Wed.-4.17 Sun.

東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りで祝う——
明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野公園を舞台に、桜の美しい時期に1か月にわたり開催する音楽祭です。東京文化会館での「ワーグナー・シリーズ」や、国内外の一流アーティストによる公演をはじめ、美術館・博物館を会場とした「ミュージアム・コンサート」、無料の小さなコンサート「桜の街の音楽会」など、約130公演を開催いたします。桜が咲きほころぶ春のひとときに、上野のあらゆる場所から、色とりどりの音楽が聴こえてくる——そんな「東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2016-」が東京・上野の春を美しく彩ります。

春が訪れ
桜がひらいて
音楽が始まる
上野の森に

ヴィーブケ・レームクール

エルダ(コントラルト)
Wiebke Lehmkuhl Erda (Contralto)

チューリヒ歌劇場の《ラインの黄金》エルダ、《ばらの騎士》アンニーナ、《魔笛》侍女3等で成功を収める。ケント・ナガノ指揮のもと《神々の黄昏》第1のノルン、フロースヒルデを歌う。シュレースヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、ルツェルン音楽祭他に出演。



© Susanna Heisen

清水理恵

森の鳥(ソプラノ)
Rie Shimizu Stimme des Waldvogels (Soprano)

東京音楽大学研究生生修了。イタリア・ボローニャに短期留学。第41回伊声楽コンクール第2位等。《リゴレット》ジルダ、《椿姫》ヴァイオレッタ、《ラボエーム》ムゼッタ、《魔笛》パミーナ、《ハンゼルとグレーテル》グレーテル他を歌う。藤原歌劇団員。



NHK交響楽団(管弦楽)

NHK Symphony Orchestra, Tokyo (Orchestra)

世界一流の指揮者を招聘し、多くの歴史的な名演を残す。現在、年間54回の定期公演に加え、全国で約120回の演奏活動を実施。2013年8月にはザルツブルク音楽祭に初出演する等、その活動と演奏は国際的にも高い評価を得ている。15年9月からバーヴォ・ヤルヴィを首席指揮者に迎えた。



チケットのお申込み

東京・春・音楽祭チケットサービス

お電話でのお申込み

03-3322-9966

オペレーター対応 [営業時間 10:00-18:00 土日祝・休] ※一般発売日11月23日 [月・祝] は左記時間に営業いたします。

オンライン <http://www.tokyo-harusai.com/>

(座席選択可・登録無料)

公式サイト
限定の
嬉しい
サービス!



公式サイト内オンライン・チケットサービス限定で、左記サービスをご利用いただけます。サービスの対象となる公演や座席および、取扱チケット枚数は限定されております。詳細は公式サイト「チケット」ページにてご確認ください。

一般発売日 2015年11月23日 [月・祝] 10:00

その他プレイガイド

●東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650 (オペレーター)

●チケットぴあ <http://w.pia.jp/t/harusai/>
0570-02-9999 (音声自動応答) ☎597-880

●ローソン・チケット <http://l-tike.com/harusai/>
0570-084-003 (音声自動応答) ☎31411

●e+ (イープラス) <http://eplus.jp/harusai/>

公演に関するお問合せ
東京・春・音楽祭実行委員会
03-5205-6497



※車椅子席、団体でのご鑑賞等、詳しくは東京・春・音楽祭実行委員会までお問合せください。※未就学児のこども席はご遠慮いただいております。※掲載の情報は2015年10月20日現在のものです。やむを得ぬ事情により、内容に変更が生じる場合がございます。出演者・曲目変更による払戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。